

I 令和6年度三豊市地域包括支援センター事業報告

1. 総括

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者を介護、健康、福祉、医療などのさまざまな面から総合的に支えるために設置され、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士、その他スタッフが連携し、業務にあたっている。被保険者が要介護状態、要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態等になった場合でも可能な限り、地域において自立した生活を営むことができるように地域支援事業を実施している。

【1】介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

- ① 訪問型サービス
- ② 通所型サービス
- ③ 介護予防ケアマネジメント

(2) 一般介護予防事業

- ① みとよ元気運動塾
- ② 転ばぬ先のステップアップ教室、元気まんてん教室
- ③ 脳きらり教室

④ その他普及事業(重点)

- ・おたっしや出前講座
- ・広報みとよ「おたっしやだより」掲載
- ・「みとよ元気体操」普及啓発

【2】包括的支援事業・任意事業

(1) 総合相談支援事業

- ① 総合相談支援
- ② 高齢者実態把握事業

(2) 権利擁護業務（高齢者虐待、成年後見制度等）

- ① 権利擁護業務
- ② 三豊市成年後見制度利用促進審議会
- ③ 三豊市市民後見人育成

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ① 介護支援専門員研修会
- ② 主任介護支援専門員勉強会
- ③ 随時の指導及び助言



(4) 地域ケア会議活用推進事業

- ① 代表者会議
- ② 個別会議 随時

(5) 生活支援体制整備事業

- ① 生活支援コーディネーターが、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備等を推進
- ② 協議体にて地域の課題等について検討
- ③ 介護予防ボランティア養成講座
- ④ 介護予防ボランティアフォローアップ研修

(6) 認知症総合支援事業

- ① 認知症初期集中支援推進事業
- ② もの忘れ相談会・オレンジの会実施事業
- ③ 認知症対応力向上を図るための支援事業
- ④ 認知症カフェ（オレンジかふえ）事業
- ⑤ 認知症サポーター等養成事業（認知症サポーターステップアップ講座）（重点）
- ⑥ 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（チームオレンジ）（重点）



(7) 在宅医療・介護連携推進事業

- ① 在宅医療・介護連携推進協議会
- ② 在宅医療・介護連携支援センターの運営
- ③ 多職種連携のための勉強会・研修会
- ④ ACP の普及啓発

※ ACP…Advance Care Planning

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組み。

(8) 家族介護支援事業

- ① 家族介護用品支給事業
- ② 家族介護教室事業
- ③ 在宅要介護者家族介護手当支給事業
- ④ 高齢者あんしん見守りネットワーク推進事業
- ⑤ あんしん通報サービス事業

【3】 介護予防支援(予防給付ケアマネジメント)事業

※要支援1・2に認定され予防給付を受ける人が対象

- ・直営・主任介護支援専門員・介護支援専門員・保健師
- ・委託・居宅介護支援事業所

2. 高齢者人口の状況

(令和6年4月1日現在)

住基人口	65歳以上人口	75歳以上人口	高齢化率
61,087人	22,547人	13,004人	36.9%

3. 第1号被保険者認定状況

(令和6年4月1日現在)

	事業対象者	要支援	要介護
人数	62人	1,138人	3,080人
認定率	0.3%	5.0%	13.7%

4. 地域包括支援センター職員構成

(令和6年5月1日現在)

職 種	人数	備 考
保健師	6	内1名 南部高齢者サポート
主任介護支援専門員	2	
社会福祉士	4	内1名 南部高齢者サポート 内2名 会計年度任用職員
理学療法士	1	
介護支援専門員	5	内5名 会計年度任用職員
事務	3	内1名 会計年度任用職員 内1名 育児休業中
合計	21	



▲三豊市介護予防レンジャー

5. 地域包括支援センター事業実績

地域支援事業

【1】介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

① 訪問型サービス

事業名	事業内容	サービス提供者	令和6年度 (延利用者数)
介護予防訪問介護 相当サービス	訪問介護員が家事や食事、入浴介助 などの支援	訪問介護事業所	1,826
生活支援訪問事業 (サービスA)	訪問介護員等が掃除や洗濯等の生活 支援	シルバー人材センター	0
生活支援訪問事業 (サービスB)	住民主体の団体による家事援助等支 援	介護予防ボランティア 養成講座を修了した者	—
短期集中予防サー ビス(サービスC)	4 か月間限定で生活動作等の改善に 向けたアセスメント訪問を通所型サ ービスCと組み合わせて実施	地域包括支援センター (理学療法士・保健師)	4

② 通所型サービス

事業名	事業内容	サービス提供者	令和6年度 (延利用者数)
介護予防通所介護 相当サービス	介護予防通所介護と同様	通所介護事業所	4,526
生活支援通所事業 (サービスA)	デイサービスセンター等において主 に運動器機能向上のための支援	社会福祉協議会 (環の湯で実施)	434
生活支援通所事業 (サービスB)	住民主体の団体が通いの場において 体操やレクリエーション等行う	介護予防ボランティア 養成講座を修了した者	10
短期集中予防サー ビス(サービスC)	4 か月間限定で運動器機能向上のプ ログラムを実施	リハ・スタジオうらしま 古民家デイサービス りあん	18

③ 介護予防ケアマネジメント

ケアマネジメントの類型	考え方	令和6年度 (延件数)
ケアマネジメントA	介護予防支援と同様。指定事業所のサービスを利用する場合のケアマネジメント	8,699
ケアマネジメントB	サービス担当者会やモニタリングを省略したもの	134
ケアマネジメントC	住民主体のサービスのみを利用するなど、サービス利用開始時のみ行う	7

(2) 一般介護予防事業

① みとよ元気運動塾

目的 楽しみながら運動を継続して行うことにより、転倒予防や体力の維持・向上を図る。(三豊市で作成した「みとよ元気体操」もプログラムの中で実施している。)

会場等 町毎に公民館や保健センター等8か所で年間11回ずつ実施した。

※ 高瀬町は2か所で実施してきたが、その内、二ノ宮会場については、令和6年度で終了する。

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回 数	52回	48回	88回	86回	88回
参加実人数	233人	224人	256人	299人	341人
参加延人数	854人	814人	1,452人	1,889人	2,189人

※ 参加者に日常的に体を動かすことの重要性が徐々に浸透してきた。また、口コミにより参加者が増加している。



② 転ばぬ先のステップアップ教室(元気まんてん教室(委託))

目的 参加者ごとに目標を立て、運動器機能向上や転倒予防を図る。

会場等 市内 2 か所で各 10 回コース。(元気まんてん教室は市内 2 か所で 12 回コース)

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
回 数	40 回 (10 回)	27 回 (12 回)	40 回 (12 回)	30 回 (12 回)	20 回 (24 回)
参加実人数	50 人 (14 人)	61 人 (19 人)	58 人 (25 人)	47 人 (30 人)	34 人 (57 人)
参加延人数	401 人 (113 人)	401 人 (202 人)	476 人 (229 人)	349 人 (335 人)	269 人 (577 人)

※ () 内は、元気まんてん教室の実績を掲載。

令和 6 年度をもって「転ばぬ先のステップアップ教室」は終了となる。

令和 7 年度は、「元気まんてん教室」を 3 会場で開催予定である。

③ 脳きり教室

目的 認知症理解の深化及び予防や早期対応の推進等をもって、地域での認知症支援の促進を図る。

会場等 町毎に公民館や保健センター等 7 か所で年間 10 回ずつ実施した。



▲頭使うんジャー

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
回 数	32 回	31 回	70 回	70 回	69 回
参加実人数	150 人	114 人	170 人	206 人	233 人
参加延人数	392 人	309 人	731 人	935 人	1,071 人

※令和 6 年度は、大雨警報発令により 1 回中止となった。継続参加者の増加に伴い、全体の実績増につながっている。

④ その他普及事業(重点)

【おたっしや出前講座】

老人会や自治会などの住民組織、高齢者サロン等からの要請により実施する出前講座。地区組織の希望内容に応じて、専門職（理学療法士、社会福祉士、保健師等）が対応。

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
回 数	12 回 (6 回)	12 回 (10 回)	22 回 (10 回)	58 回 (16 回)	55 回 (13 回)
参加人数	213 人 (69 人)	109 人 (60 人)	481 人 (168 人)	1,210 人 (327 人)	1,031 人 (184 人)

※ () 内は、リハビリテーション専門職（理学療法士）が主に対応した実績。

【広報みとよ「おたっしやだより」掲載】

広報みとよ内に「地域包括支援センター おたっしやだより」のページを設け、高齢者の健康づくりの普及啓発や認知症との向き合い方などを毎月掲載した。また、各種相談窓口や教室案内を掲載することにより、新規利用者の獲得を図った。

【「みとよ元気体操」普及啓発】

「みとよ元気体操」DVD、CD を市内希望団体に配布した。

【2】 包括的支援事業・任意事業

(1) 総合相談支援事業

① 総合相談支援業務

目的 高齢者が住み慣れた地域の中で、安心してその人らしい生活を継続していけるように適切なサービスをコーディネートし、利用できるよう支援する。



年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総合 相談	実件数	1,074 件	1,186 件	1,271 件	1,707 件	2,040 件
	南部(再掲)	288 件	379 件	315 件	302 件	469 件
	延件数	1,958 件	2,406 件	2,431 件	3,301 件	3,947 件
	南部(再掲)	550 件	755 件	587 件	841 件	1,183 件

※高齢者世帯や独居高齢者、複合的な課題を抱える家庭など伴走的支援が必要となるケースが増加したことにより、総件数が増加していると考えられる。

② 高齢者実態把握事業

目的 地域の独り暮らしや閉じこもり傾向にある高齢者を訪問し、状況を把握することにより、適切なサービスに結びつける。

内容 民生委員や介護予防サポーター、警察署等からの情報提供や相談をもとに高齢者を訪問して実態を把握し、適切な支援を継続した。

(2) 権利擁護事業

目的 専門的かつ継続的な視点から高齢者の権利擁護に資する支援を行う。

① 権利擁護業務

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
虐待に関する相談	125 件	108 件	52 件	142 件	176 件
日常生活自立支援	39 件	105 件	62 件	47 件	67 件
消費者被害	9 件	3 件	12 件	8 件	10 件
成年後見制度	172 件	254 件	244 件	117 件	199 件
(内)市長申立件数	6 件	6 件	10 件	0 件	4 件

② 三豊市成年後見制度利用促進審議会

内容 日 時 令和 7 年 1 月 16 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 30

場 所 危機管理センター 2 階 201・202 会議室

協議事項 (1) 成年後見制度利用促進に関する取組について
(2) 市民後見人養成状況について
(3) 関係機関との連携について
(4) その他

③ 三豊市市民後見人育成

「三豊市成年後見制度利用促進基本計画」により、市民後見人の育成及び活用を目的とし実施。

期間 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

内容 市民後見人養成講座修了者に対するフォローアップ研修
法人後見支援員・生活支援員活動

場所 豊中庁舎 3 階 セミナールーム

	月 日	内 容	受講者数
1	8 月 2 日	身寄りのない方の支援	4 人
2	2 月 12 日	消費者問題～事例紹介と防止策について～	4 人
	随時	法人後見支援員・生活支援員活動とその支援	

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

① 介護支援専門員研修会

目的 地域のケアマネジメント力の向上及びネットワーク構築支援を行う。

	月 日	内 容	参加者数
1	5月24日	介護保険課からのお知らせ 指定介護予防支援事業所の事務等について	40人
2	11月15日	自立支援に向けたケアプランを作成するために	37人
3	3月14日	ひきこもりを理解する	25人

② 主任介護支援専門員勉強会

目的 地域課題の発見や解決策等の情報共有、市内の介護支援専門員の関係構築を図る。

	月 日	内 容	参加人数
1	8月23日	肝臓病患者が在宅で生活する上で気を付けること	29人
2	9月27日	①自立支援に資するケアマネジメント力について	24人
3	1月10日	②自立支援に資するケアマネジメント力について	24人

(4) 地域ケア会議活用推進事業

① 代表者会議（推進会議）

目的 個別ケースの支援内容を検討することにより、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援や課題解決のための地域包括支援ネットワーク構築、高齢者の実態把握、地域課題の把握を行う。また、各地域の実情に応じて必要と認められる事項について検討を行う。

内容 日 時 令和7年1月23日（木）15:00～16:30

場 所 危機管理センター301・302会議室

- 協議事項
- (1) 地域ケア推進会議について
 - (2) 生活支援体制整備事業について
 - (3) 権利擁護事業について
 - (4) 地域ケア個別会議について
 - (5) 認知症施策について
 - (6) その他

② 個別会議

目的 個別ケースについて、多機関・多職種で支援内容の検討を行い、多角的視点から課題解決を支援するとともに、介護支援専門員の「自立支援に資するケアマネジメント」に係る実践力を高める。

内容 地域での支援困難事例に関して、民生委員や自治会長、社会福祉協議会による処遇検討会議を実施。顔の見える関係づくりや地域のネットワーク作りを行った。
自立支援型の地域ケア会議では、専門職を交え意見交換ができ、利用者が少しでも住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるようにアドバイスすることができた。

(5) 生活支援体制整備事業

① 生活支援コーディネーターが、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進

社会福祉協議会に事業を委託。さまざまな機関や団体等、地域資源を活用しながら生活支援・介護予防に係るサービスの基盤整備を行う。

② 協議体にて、地域の課題や解決方法の検討

生活支援体制整備事業（第1層協議体・第2層協議体の設置）

目的 市内全域の情報共有や課題抽出の協議の場として第1層協議体を設置する。また、各地域で地縁組織や意欲のある住民がメンバーとなり構成する第2層協議体を設置し、地域のニーズや地域資源等の情報共有及び連携・協働による取り組みを推進する。

内容 第1層協議体及び第2層協議体の運営

	地区	開催数	参加者(延人数)	主なテーマ
第1層協議体	市全域	1回	15名	第2層の状況報告
第2層協議体	高瀬	16回	99名	地域の担い手不足、孤立化について
	山本	24回	175名	通い・居場所について
	三野	20回	307名	地区防災、多文化交流について
	豊中	22回	223名	ボランティア、後継者不足について
	詫間	22回	125名	海岸清掃・海ごみ問題について
	仁尾	61回	810名	移動手段について
	財田	12回	147名	交通手段、移動スーパーについて

③ 介護予防ボランティア養成講座

目的 地域での高齢者の見守りやサロン活動、総合事業におけるサービス B (通所・訪問) などの介護予防を担う人材育成と、高齢者の生活を支える地域づくりを社会福祉協議会に委託のうえで実施。

内容 社会福祉協議会と地域包括支援センターによるボランティア活動についての考え方や介護保険制度、総合事業、認知症についての講義、また、医療従事者による清潔保持と健康状態の管理や活動中における緊急時の対応についての講義を受講することにより、介護予防に係る学びを深めた。

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
回 数	—	1 回	1 回	—	1 回
参加実人数	—	10 人	5 人	—	3 人

④ 介護予防ボランティアフォローアップ研修

目的 介護予防サポーターの人材育成や情報交換を社会福祉協議会に委託して実施。

内容 「ボランティア活動にも活かせる認知症予防体操のすすめ」

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
回 数	1 回	—	1 回	2 回	2 回
参加実人数	20 人	—	15 人	31 人	30 人

(6) 認知症総合支援事業

① 認知症初期集中支援推進事業

目的 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

内容 認知症に係る専門的な知識・技能を有する医師の指導の下、複数の専門職で認知症が疑われる人（家族の訴え等による）や認知症の人及びその家族を訪問し、観察・評価を行い、初期支援を包括的、集中的に実施した。

支援チームは三豊市立西香川病院認知症疾患医療センターに委託して実施。

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ケース	5 ケース	3 ケース	1 ケース	4 ケース	5 ケース
訪問回数	30 回	9 回	0 回	16 回	18 回
チーム員会議	6 回	2 回	0 回	4 回	7 回

② もの忘れ相談会・オレンジの会実施事業

目的 医療・介護の連携強化等により、地域の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

内容

認知症に関する相談	延相談件数 539 件 (前年度 489 件)
もの忘れ相談会	毎月 1 回 相談者数 28 名 (内新規相談者 19 名) /12 回
オレンジの会 (認知症当事者と その家族のつどい)	・認知症の本人と家族が集い、専門職からのミニ講話や日常生活の悩み等の情報交換を行う場を設け、本人の意欲向上及び家族の介護負担感の軽減を図る。 延参加者数 44 名
かがわ認知症予防月間 (9 月イベント)	・若年性認知症と診断された夫とその家族の実話を基に、希望と再生の物語を描いた映画「オレンジランプ」を市内 3 か所で上映 参加者計 100 名 ・市内支所等に啓発幟を設置 ・図書館にて認知症に係る図書を集め、ゆめタウンみとよ等でフェアを開催

③ 認知症対応力向上を図るための支援事業

目的 介護保険施設等職員の認知症への理解や対応力を高め、認知症ケアの向上を図る。

内容 介護保険施設等での処遇困難事例について、西香川病院認知症疾患医療センターのアドバイザーを交え事例検討を行う。

令和 6 年度は、オンラインで 1 施設 1 事例の検討を行った。

④ 認知症カフェ(オレンジかふえ)事業

目的 認知症の人及びその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集うことができる場を設置することにより、認知症について地域住民の理解を深め、認知症の人及びその家族が地域で孤立することを防ぎ、共に支えあえる地域づくりを推進する。

内容

- ・認知症の人及びその家族、地域住民、専門職等の交流の場を提供する。
- ・認知症についての相談、情報提供、助言等の実施に関する事。
- ・認知症についての正しい知識の普及及び啓発に関する事。

認知症カフェ・令和6年度実績

	かふえ名称	委託先	開催回数	参加者数 (延べ)
1	みんなのカフェ	合同会社ハートオブナーシング	12回	122人
2	おれんじドア結	NPO 法人まちづくり推進隊山本	12回	162人
3	禅進	合同会社 禅進	10回	58人
4	みの	NPO 法人まちづくり推進隊みの	11回	81人
5	Café とよなか	社会福祉法人 豊中福祉会	12回	93人
6	りぼん	若年認知症家族会りぼん	11回	97人
7	にじいろカフェアーチみとよ	アーチ株式会社	8回	68人
8	なごみ	オレンジかふえ なごみ	12回	366人
9	阿須波	オレンジかふえ 阿須波	12回	119人

カフェの新規開設に伴い、参加者数は増加傾向にある。それぞれのカフェが参加者に合わせた講話、創作活動、個別相談対応等を実施することにより、日々の悩みを解決するヒントが得られると利用者の満足度向上に繋がっている。

⑤ 認知症サポーター等養成事業(重点)

【認知症サポーター養成講座】

目的 認知症の人やその家族を地域の中で支える人材の育成。

内容 県で養成されたキャラバンメイトが中心となり、認知症の理解や対応について、学校やサロン、地区組織、職域等の団体に向けて出前講座を実施した。認知症サポーター養成講座の一部を社会福祉協議会へ委託。



年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
メイト数	106人	111人	111人	115人	123人
普及回数	34回	13回	23回	26回	39回
参加延人数	839人	293人	546人	639人	889人
内児童生徒数	472人	197人	406人	543人	611人

※ 上記児童生徒数には、四国学院大学専門学校、香川西高等学校衛生看護専攻科等の生徒は含んでいない。令和6年度は、企業としての参加を含め成人受講者数が増加した。



【認知症サポーターステップアップ講座】

認知症サポーター養成講座の受講者を対象に「認知症サポーターステップアップ講座」を実施。認知症の人を支える仕組み作り（チームオレンジ）を学び、ボランティア活動について参加者で意見交換を行った。

月 日	内 容	参加者数
6月13日	認知症観を変えよう！認知症の知識をアップデートしよう！ 講師：西香川病院認知症疾患医療センター 相談員	31名
10月31日	・チームオレンジについて（グループワーク） ・第1号 チームオレンジ（オレンジかふえなごみ）認定式	27名
令和7年 3月17日	「私の認知症観、みんなの認知症観」 ～認知症を自分事として捉えるために～ 講師：西香川病院 看護部長 井川咲子氏	37名

⑥ 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

目的 認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを整備し、その運営を支援する。

内容 認知症の人を支える仕組み（チームオレンジ）の立ち上げと運営支援を行い、市内初となるチームオレンジ「オレンジかふえなごみ」の認定を行った。



(7) 在宅医療・介護連携推進事業

目的 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護の関係者が連携し、包括的かつ継続的な支援を一体的に提供する必要がある。そのために地域の医療と介護の関係機関との連携体制の構築を推進する。

① 在宅医療・介護連携推進協議会

日 時 令和7年1月23日（木）13：30～14：30

場 所 危機管理センター 3階 301・302 会議室

協議事項 (1) 在宅医療・介護連携が求められる背景及び事業目的について
(2) 事業の進捗状況及び今後の方向性について

② 在宅医療・介護連携支援センターの運営

在宅医療・介護連携支援センターは直営で運営しており、三豊市地域包括支援センター内に相談窓口を設置している。市民又は医療・介護関係者等からの在宅医療や在宅介護に関する相談、入退院又は転院に関する相談に応じ、本人及び家族の意向を踏まえた医療機関や介護サービス事業所等の情報提供を実施した。

相談業務実績 相談件数：延べ 661 件

③ 医療・介護関係者の多職種連携のための勉強会・研修会

月 日	内 容	参加者数
6 月 6 日	緩和ケアについて がん相談支援センターについて	30 人
8 月 1 日	在宅高齢者の口腔ケアについて	13 人
10 月 3 日	おとなの発達障がいについて	33 人
12 月 5 日	新しい認知症観について	23 人
2 月 6 日	意思決定支援について	26 人

参加延人数 125 人

(8) 家族介護支援事業

① 家族介護用品支給事業

目的 在宅介護の推進と家族の介護に対する経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者福祉の向上に資する。

内容 要介護 4 または 5 の要介護者と同居し、在宅において介護している介護者（同一世帯の非課税世帯を対象）に月 6,500 円の現物支給を行った。

介護度別支給状況

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
要介護 4	22 件	33 件	28 件	32 件	33 件
要介護 5	23 件	20 件	11 件	8 件	7 件
実人数	45 件	53 件	39 件	40 件	40 件

② 家族介護教室事業

目的 在宅のねたきりや認知症等の高齢者を介護している家族の身体的又は精神的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。

内容 介護に関する知識や技術を学び、同じ立場の者同士が悩みや体験を打ち明け、共感し情報交換できる場を市内の実施可能な団体へ委託し開催する。

月 日	内 容	委託先	参加者数
4月7日	口腔ケアの大切さ 講師：しのまる歯科ゆかり矯正・こども歯科 医師	デイサービスセンターくいち	28名
9月12日	本人のこころの中は？こんな時どうする？ 講師：地域包括支援センター 社会福祉士	とよなか荘	10名
12月1日	転倒予防体操・効率的なたんぱく質の摂り方 講師：介護老人保健施設みの荘 理学療法士 管理栄養士・栄養士	みの荘	14名
令和7年 1月27日	認知症の方を介護している家族からのメッセージ 講師：認知症の方の家族	西香川病院	9名
2月12日	認知症の人が見えている世界を感じてみよう。 VR体験 講師：健祥会・徳島県介護実習・普及センター	とよなか荘	24名

③ 在宅要介護者家族介護手当支給事業

目的 在宅のねたきりや認知症等の高齢者を介護している家族に支援を行い、在宅介護の推進と家族の介護に対する負担の軽減を図る。

内容 要介護4または5の要介護者を在宅において介護している介護者に月1万円を支給した。(特別障害者手当受給者は対象外)

介護度別支給状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
要介護4	113件	118件	102件	92件	84件
要介護5	56件	65件	51件	46件	34件
実人数	169件	183件	153件	138件	118件

④ 高齢者あんしん見守りネットワーク推進事業

ア 高齢者あんしん見守りネットワーク推進事業

目的 認知症等により行方不明のおそれのある高齢者が行方不明になった場合に備え、地域の支援を得て早期に発見・保護できるよう関係機関との協力体制を構築することにより、高齢者の安全の確保及び家族等への支援を行う。

内容 協力事業所及び協力員や行方不明のおそれがある高齢者等を事前登録し、行方不明者が生じたときは、協力事業所等に情報を配信し、早期発見に努めた。

・登録者の件数等（令和7年3月31日現在）

協力者 280名

協力事業所 37事業所

事前登録者 80名（内新規登録者8名）※在宅23名（死亡、転出、入所等を除く）

・行方不明情報提供等

情報提供数 市内2件 県内0件 県外37件

メール配信数 県内2件（内：三豊市内2件） 県外0件

イ「認知症高齢者等支援対象者の情報提供に関する三豊市と三豊警察署との相互連携の推進に係る協定(平成30年12月20日)」に関する取組

目的 行方不明者の早期発見、身元不明迷い人の早期身元確認及び認知症の容態に応じた適時、適切な医療や介護等の提供を目的として連携した取組みを推進する。

内容 三豊市及び三豊警察署が保有する認知症高齢者等に関する情報について共有することにより、行方不明の未然防止、保護、早期治療・対応による心理状況の軽減及び緩和、関係機関との連携・支援につなげた。

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
情報提供件数	46件	42件	41件	28件	29件

ウ「認知症高齢者等の情報提供及び支援に関する協定(令和元年5月31日)」に関する取組

目的 県及び県警が、認知機能の低下を理由に運転免許の取消（自主返納）をした高齢者等のうち支援を希望する人について、市に情報提供を行い、必要な支援につなげる。

内容 運転免許証の取消（自主返納）者の内支援希望者に対して、地域包括支援センター職員が訪問等を実施した。

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
情報提供件数	9件	19件	18件	16件	29件

【3】 介護予防支援(予防給付ケアマネジメント)事業

目的 高齢者の要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した日常生活が続けられるよう本人・家族を中心に、包括的・効率的なサービスが提供されるようマネジメントする。

年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
介護予防支援 延件数	4,639 件	5,065 件	5,372 件

※要支援 1・2 に認定され予防給付を受ける人が対象。

- ・直営・主任介護支援専門員・介護支援専門員・保健師
- ・委託・居宅介護支援事業所 (32 事業所)

別掲

介護予防ケアマネジメント(ケアマネジメント A)及び介護予防支援の件数について

年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
認定内訳 (延件数)	要支援 1	3,074 件	3,173 件	3,288 件	3,472 件	3,559 件
	要支援 2	5,224 件	5,243 件	4,994 件	4,924 件	4,880 件
	事業対象者等	349 件	332 件	305 件	287 件	260 件
	計	8,647 件	8,748 件	8,587 件	8,683 件	8,699 件
直 営 (延件数)	3,858 件	3,854 件	4,109 件	4,201 件	4,204 件	
委 託 (延件数)	4,992 件	4,793 件	4,639 件	4,411 件	4,528 件	

※事業対象者とは、基本チェックリストにより生活機能の低下が認められた者である。

※ケアマネジメント A は、要支援 1・2 に認定された者又は事業対象者で通所介護と訪問介護のみを利用するものが対象。